

即興演奏と伴奏法等)
現下音楽教育の問題点

第3節 教育課程

新教育課程は、小・中・高等学校とも完全に実施され、じゅうぶんその趣旨が徹底されている。なお、新教育課程の実施にともなう指導上の諸問題を研究し、その解明を図って、教職員の指導力の向上に資するため、小・中・高等学校を通じて教育課程研究集会を開催したので、これについて次に述べる。この研究集会の成果は「昭和41年度福島県教育課程研究集会集録」として各学校に配布した。

1 小 学 校

(1) 目 的

小学校の教育課程の実施にともなう指導上の諸問題を研究協議し、その解明を図り、教職員の指導力の向上に資する。

(2) 主 催

文部省、福島県教育委員会、福島県小学校教育研究会

(3) 期 日 ・ 期 間

- ① 地区集会 昭和41年7月26日(火)～27日(水)の2日間
- ② 県集会 昭和41年9月19日(月)～20日(火)の2日間

(4) 会 場

- ① 地区集会 各教育事務所ごとに会場を設定する。
- ② 県集会 郡山市立桶小、金透小、芳山小

(5) 参 加 者(5)

国・公・私立の教員とし、各会場の参加者数は表のとおりである。

(6) 研究集会の運営

- ① 部会を次のとおり設け、参加者はそれぞれひとつの部会に所属して研究する。なお各部会には指導助言者・司会者・記録係をおく。
(国語) (社会) (算数) (理科) (音楽) (図画工作) (家庭) (体育) (道徳) (特別教育活動) (学校行事等)
- ② 各部会とも研究問題として設定された共通問題および小学校教育研究会で設定した問題を中心に研究する。
- ③ 日程は次のとおりとする。

ア. 地区集会

時刻	9 20	9 50	12 00	13 00	15 50	16 00
第1日	開会式	オリエンテーション	部会(共通問題)	昼食	部会(共通問題)	
第2日	部会(研究会の問題)		休憩	部会(研究会の問題)	閉会式	

イ. 県集会

時刻	10 30	11 00	11 30	12 00	12 40	14 30	15 00	16 30
第1日	受付	開会式	オリエンテーション	昼食	教育上の諸問題	移動	部会(発表)	
第2日	部会(研究協議)			休憩	部会(まとめ)	閉会式		

- ④ 部会の内容には、オリエンテーション、研究発表、研究協議、まとめの各事項を含むものとする。
- ⑤ 研究発表は各部会とも第1日、第2日とも3人ずつ行なうことを原則とする。
- ⑥ 各会場の運営責任者を協議のうえ決定し、運営責任者は共催者と密接な連絡を図って運営にあたる。

(7) 指 導 助 言 者

指導主事、指導委員および校長、教諭等

(8) 事 前 研 究

- ① 各参加者は「事前研究の手びき」に基づき、個人または共同で事前研究を行なうこと。
- ② 小学校教育研究会においても研究問題を設定するので、各参加者はこれに基づき、個人または共同で事前研究を行なうこと。

(9) 事 後 処 理

- ① 各部会においては、研究結果をまとめて、運営責任者に提出する。
- ② 参加者の中から各部会ごとに2名の代表者を決定し、県集会上に派遣する。
- ③ 県集会参加者の中から各部会ごとに2名の代表者を決定し、全国集会上に派遣する。
- ④ 各学校においては、参加者を中心にして研究を深める機会を設けることが望ましい。

(10) 研 究 問 題

① 国 語

ことばに関する事項の学習指導

—ことばづかい、文、文章の組立ての学習を中心として—

② 社 会

歴史的学習における思考力を高める指導

③ 算 数

ア 算数の指導を通して、どのような数学的思考を伸ばすことが望ましいか。

イ. 数量的に問題を処理し、解決する能力を伸ばすにはどのように指導したらよいか。

④ 理 科

発展的・系統的な指導計画をどのようにして立てるか。また、その中に位置づけられる教材の性格と、それに即した学習指導の方法はどのようであるべきか。

—特に他学、物理、化学の素材の考察

⑤ 音 楽

器楽指導を効果的に進めるにはどのようにしたらよいか。

—特に合奏指導における編成、編曲、選曲を中心に—

⑥ 図 画 工 作

「いろいろなものを作る」指導はどのようにすすめたらよいか。

⑦ 家 庭

被服の領域における学習指導を効果的にすすめるためにはどうしたらよいか。

—特に着方の指導について—

⑧ 体 育

ボール運動の効果的指導はどのようにすればよいか。
—特に簡易サッカー、ソフトボールの技能向上のための